

～ダメジャー中曽根のこと～

主人が亡くなりまして早や二ヶ月“やりたい事はやり抜き、思い残すことはない”と主人が言い切れたことは“えん”があつてのことと思います。定年後、えんでの仕事とボランティアをする事が楽しくて仕方ないと毎日通っていました。えんでの庭造りと畑仕事、そして腹話術で皆さんに楽しんでもらう、次々と新しいことを考えながら挑戦していきました。

そして、ついに三年前には自分の人生の集大成ともいうべき“ダメジャー中曽根の個展”をスタッフの子供たちの作品も巻き込んでえんのリビングで開催しました。前職の手描友禅の額絵や着物の下絵などと共に全て自分で作った腹話術のお人形たちも飾り、大変好評でした。

最後となりましたが、去年の四月には、お茶会をさせていただきました。学生時代にやっていたお茶のお点前を皆と一緒にやりたいと、スタッフや利用者さんをお客様として（もちろん主客は代表）飾る額から主菓子迄吟味して揃え、点て出しをする。これもずっと昔からの自分の夢だったのでですね。

これらの主人の無茶振りをえんの代表始めスタッフの方々が全て心良くOKして下さり、それ以上に応援していただき、思いっ切りやりたい事を全てやれた事が冒頭の“思い残すことはない”と言わしめたのだと今つくづく思います。

えんの皆様、こんな主人に温かく付き合ってください、エンターテイナーとして花開いた十四年間本当にありがとうございました。

令和2年2月末 中曽根幸子



2017年『ダメジャー中曽根』の個展

～中曽根さん

手作りの腹話術の人形たち～



森のメルヘン

だちょうのぐらちょ

妖精ハッピー